



# すずらん



かけがえのない人生に乾杯!  
すずらん苑 敬老会

西條八十作詞の「かなりや」や、北原白秋作詞「あわて床屋」など名曲の数々を世に送り出した童謡・童話雑誌『赤い鳥』が大正七年に創刊されてから、今年にはちょうど百年目に当たります。童謡は日本の四季折々の豊かな自然の風土より生まれており、高齢者の皆様にとっては、

の長寿と健康をお祝いいたしました。まず第一部式典では、長寿者の表彰をいたしました。今年の賀寿祝は、「喜寿祝」の方が、中根かつ様、「米寿祝」の方が、安蔵すて様、高田武男様、安蔵満男様、安蔵守様、田所孝子様、渡邊ちよ子様、吉原



口雨情が茨城県出身で水戸にも縁があった事は、より一層童謡への親近感もわいてきます。さて、渡里すずらん苑では、今年もご家族様を招待して敬老会を開催、ご利用者の皆様の



館県議会議員



袴塚市議会議員

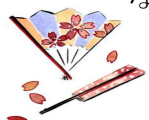


心が安らぐとともに、懐かしい思い出も甦り、脳の活性化など介護施設のリクリエーションには欠かせないものとなっております。また「赤い靴」七つの子」でお馴染みの童謡詩人野

次に第二部のアトラクションでは、童謡誕生百年を記念して、「五軒童謡を歌う会」の皆様による「童謡ショー」を開催いたしました。中澤敏子先生の指揮のもと「赤とんぼ」や「七つの子」など合唱団の見事なハーモニーに会場の皆様は大変感動されました。(九月十六日)



つや様、「白寿祝」の方が石川はつ様の様でした。そして最高齢の百二歳の田森あさの様が「特別長寿祝」の表彰となりました。続いて来賓としてご臨席いただきました県議会議員の袴塚様、市議会議員の入所者の皆様方にあたたかい祝福の言葉をいただき水戸市長高橋様からの祝辞も披露されました。



すすきにお団子…お月見飾り

今年も中秋の名月を楽しもうと、お団子に柿や栗や南瓜など秋の収穫物を供えました。花瓶には中央にすすきを挿し、萩や女郎花・藤袴など秋の七草を添えて仕上げました。ご利用者の皆様は真赤なりんごや、ユニークな形の南瓜から色とりどりの花々など、この時季ならではのの色と形のハートモニーを堪能いたしました。



九月二十四日

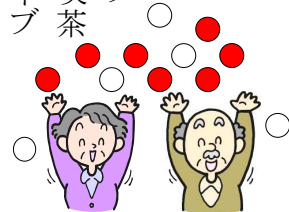
ピアノ「キーボード」をお譲り下さい!



要らなくなった「ピアノ」や「キーボードピアノ」は「ごさいませんか?」すずらん保育園で活用させていただきます。お譲り頂ける方がいらっしやいましたら、ご連絡お待ちしております。

十月の予定

- ◎ すずらん苑運動会
- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 書道教室
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ すずらん喫茶
- ◎ 秋のドライブ
- ◎ 出張理美容



三千の

俳句を閲し

柿二つ

正岡子規



ご家族様・施設職員懇談会

敬老会の後は、ご家族様との懇談会を開催いたしました。今回は、水戸地区救急普及協会の皆様による「救命講習」を開催していただき、AED 自動体外式除細動器の取り扱い方など、ご家族様も一緒に体験していただきました。



十六日

秋の名曲あれこれ…音楽療法



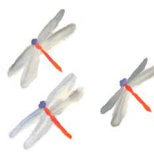
秋の歌は「赤とんぼ」や「故郷の空」など郷愁を誘う名曲が多く、人気の歌がいっぱいです。今回は、登場する動物にちなんだ曲当てクイズも楽しみました。

秋の気配を感じて…書道教室

今回の書道教室は「秋の言葉いろいろ」と題して「虫の声」「十五夜」など季節の言葉を書き上げました。



真赤な秋



作詞 薩摩 忠  
作曲 小林 秀雄

まっかだな まっかだな  
つたの葉っぱが まっかだな  
もみじの葉っぱも まっかだな  
沈む夕日に たらされて  
まっかなほったの君と僕  
まっかな秋にかこまれている  
まっかだな まっかだな  
からすうりつて まっかだな  
とんぼのせなかも まっかだな  
夕焼け雲を ゆびさして  
まっかなほったの君と僕  
まっかな秋によびかけている



- \*ご寄付\*
- 廣木 早苗様 安藤 豊子様
  - 寺門いつ子様 三浦 利子様
  - 野中 京子様 安蔵 すす様
  - 亀山 栄子様 亀山 正己様
  - 鈴木百合子様 細井 豊様
- ありがとうございました